

2020年5月22日

各 位

会 社 名 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 下條 治  
(JASDAQ・コード4783)  
問合せ先 執行役員管理本部長 加藤 裕介  
電 話 03-5437-1021

## 新中期経営計画「Vision2023」の策定に関するお知らせ

当社は、2021年3月期から2023年3月期の3事業年度を対象期間とする中期経営計画「Vision2023」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. ビジョン

国内における少子高齢化、急速な技術革新の進展や人々の価値観の多様化など、社会構造変化のスピードはますます加速しております。また、新型コロナウイルス感染症の影響は景気動向等に大きな影響を及ぼし、人々の行動を変容させています。

このような環境下において当社グループが、株主様、お客様、社会に必要とされ、また当社グループのすべての従業員が仕事に誇りとやりがいを感じ活力ある企業に成長していくためには、更なる変革と進化の必要性を強く認識し、新たな中期経営計画「Vision2023」を策定し、「Change & Challenge for Smile」をスローガンといたしました。

#### 2. 基本方針（ストックとフローの連携強化による更なる付加価値の向上）について

当社は、経営理念「ユニークなソフトウェア技術により、明るい未来に貢献する」のもと、1967年の創業以来、常にお客様の満足を第一に考え、最適なシステムときめ細かなサービスの提供に努めてまいりました。

その結果、IT関連事業（システム開発事業及びサポート&サービス事業）及びパーキングシステム事業において、お客様の各現場に密接に寄り添った保守・運用などのストック業務に強みをもっております。この強みを活かしつつお客様や社会の課題を解決していくためには、ストック業務を通じて得た豊富な経験とノウハウを企画・開発領域にスムーズかつ効果的に連携していくことが極めて重要であると認識し本基本方針を策定いたしました。

#### 3. 目標指標

目標指標	2023年3月期目標値	(参考) 2020年3月期実績値
連結売上高	20,000百万円	18,390百万円
連結営業利益	1,200百万円	936百万円
連結ROE	15%以上	16.6%

中期経営計画「Vision2023」の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

# グループ中期経営計画

## Vision2023 Change & Challenge for Smile

2020年 5月 22日  
日本コンピュータ・ダイナミクス(株)  
代表取締役社長 下條 治



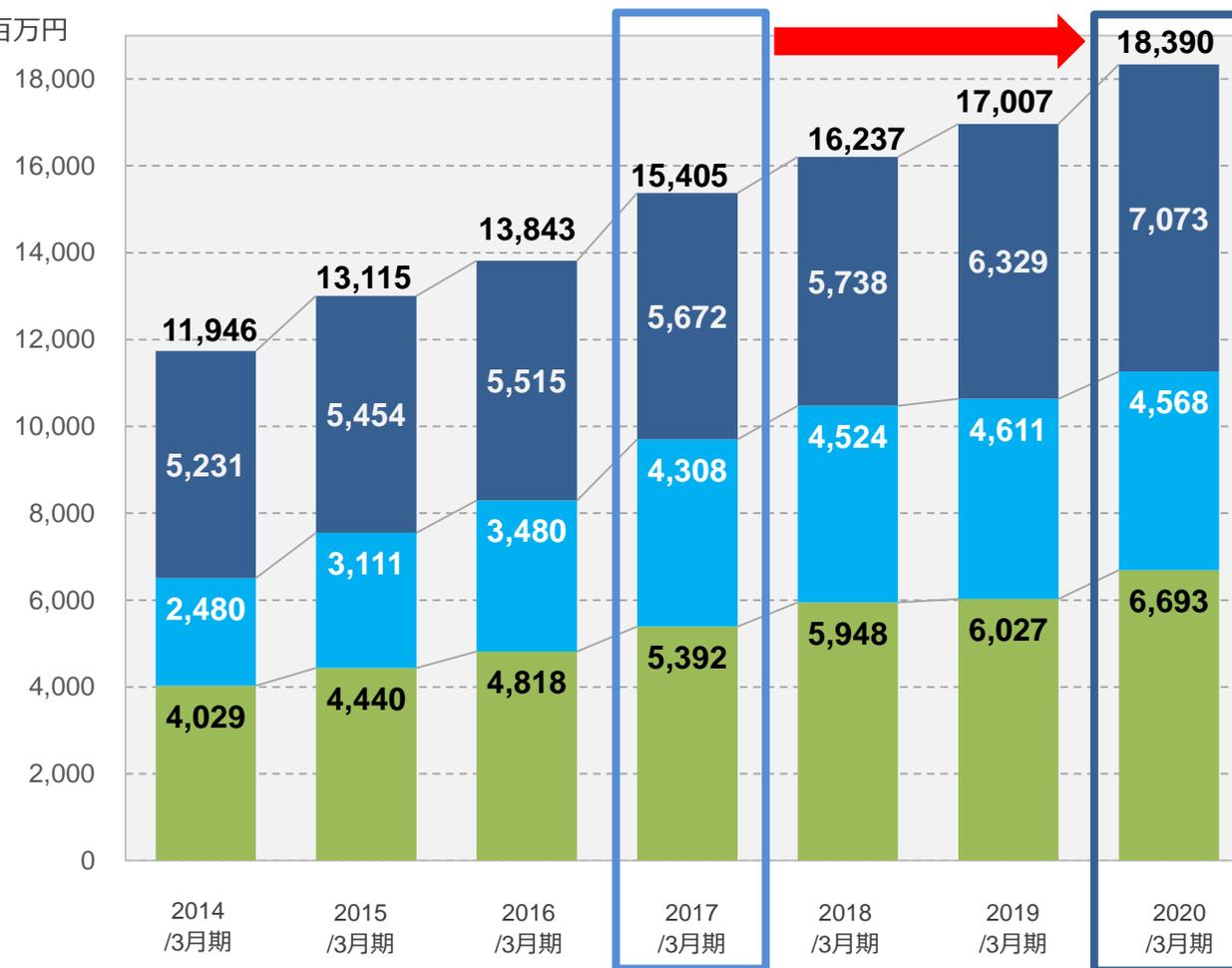
1. 前中期経営計画 (Vision2020) の振り返り
2. 今後の事業環境の見通し
3. 新中期経営計画 (Vision2023) 基本方針
4. 企画管理部門戦略
5. 新中期経営計画目標



# 1. 前中期経営計画 (Vision2020) の振り返り

## 主要セグメント別 売上高の推移

単位：百万円



前中期経営計画  
最終年度からの**伸長**

■ システム開発事業

**24.7%増加**

■ サポート&サービス事業

**6.0%増加**

■ パーキングシステム事業

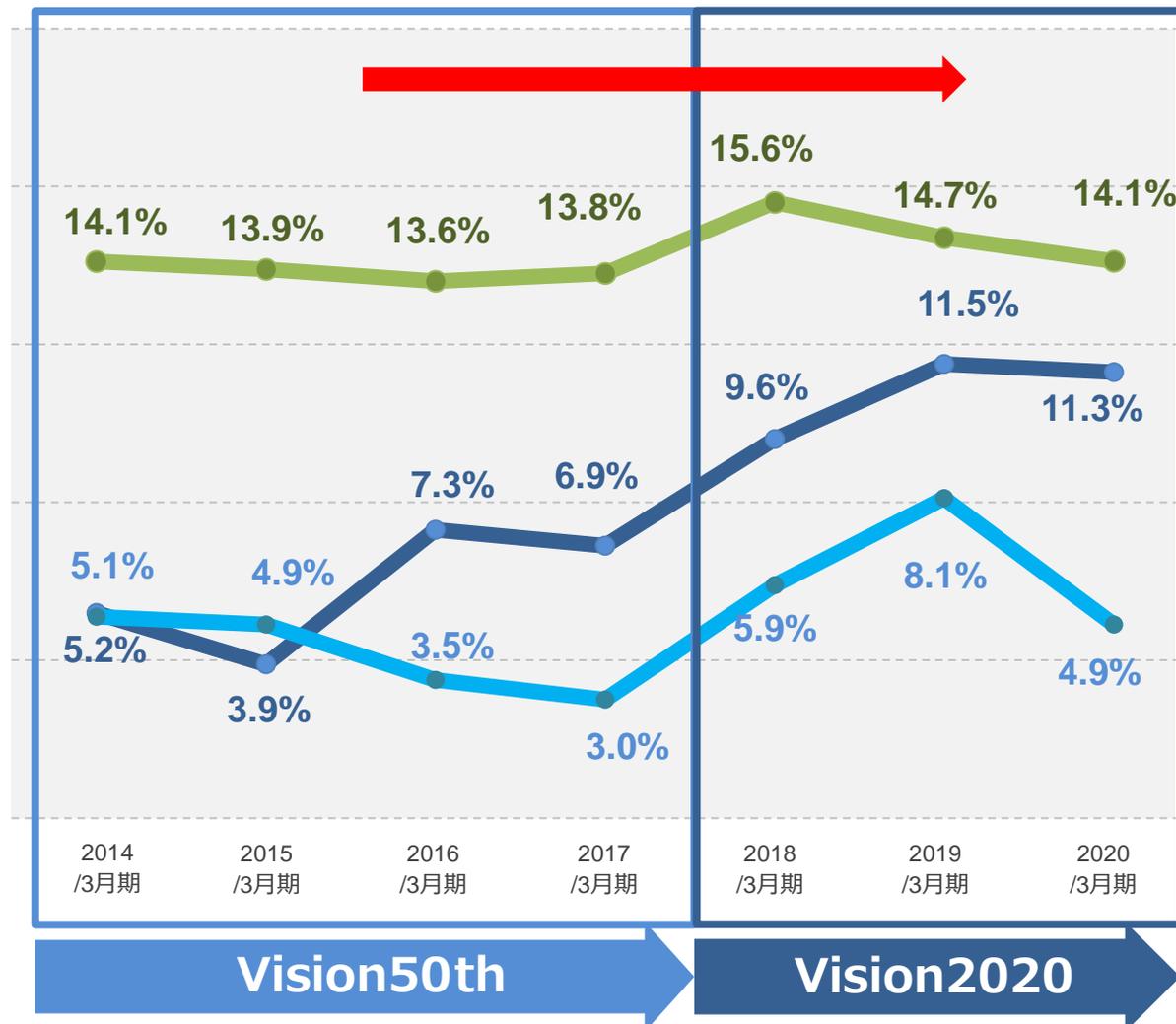
**24.1%増加**

Vision50th

Vision2020

# 1. 前中期経営計画 (Vision2020) の振り返り

## 主要セグメント別 営業利益率の推移



前中期経営計画比  
平均利益率の**伸長**

■ パーキングシステム事業  
13.9% → 14.8%

■ システム開発事業  
5.8% → 10.4%

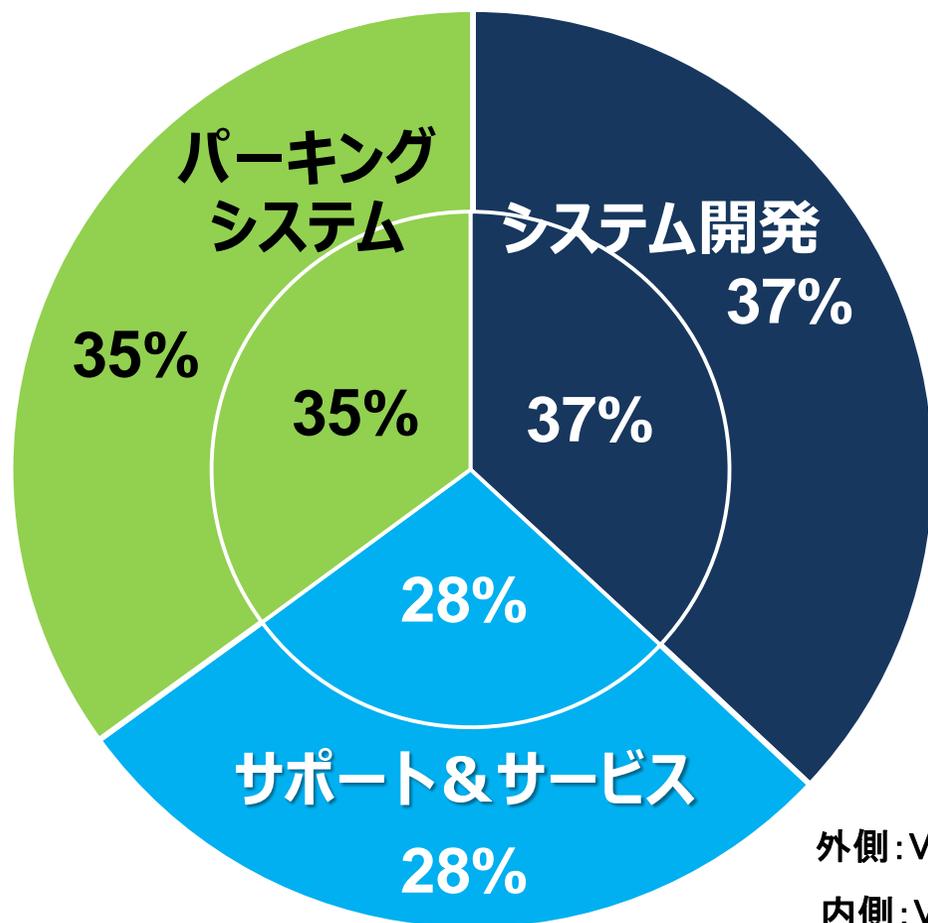
■ サポート&サービス事業  
4.8% → 5.8%

# 1. 前中期経営計画 (Vision2020) の振り返り

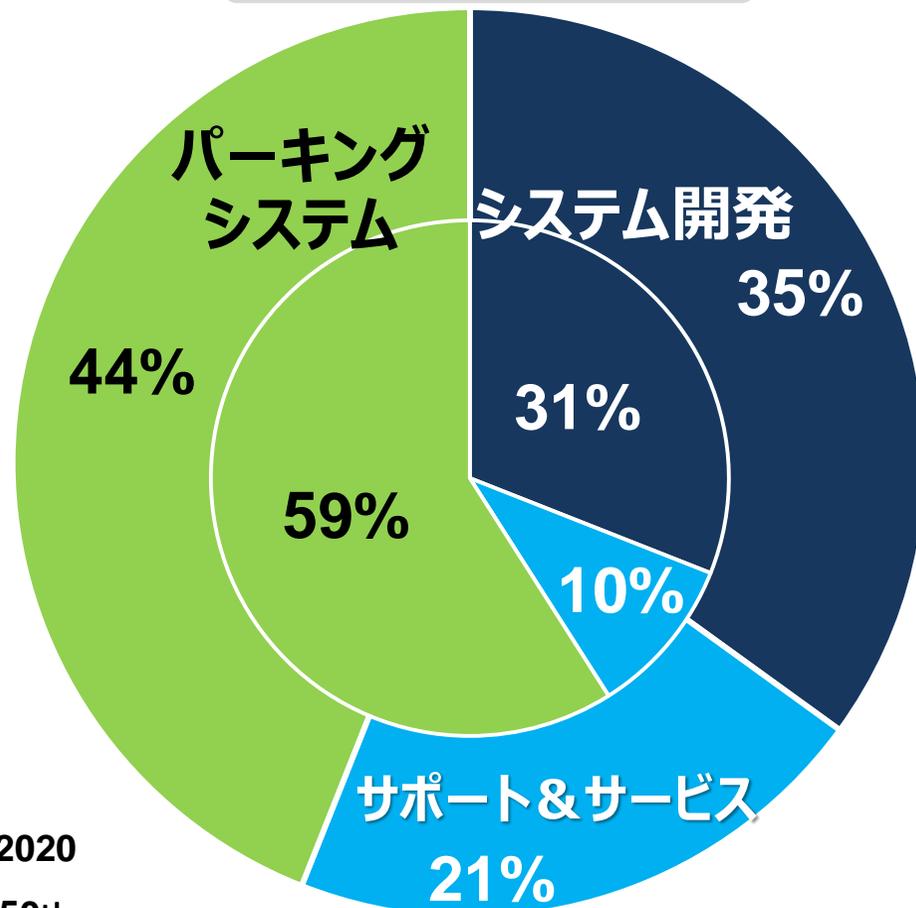
## 主要セグメント別 構成比率

売上高、営業利益額ともに、3セグメントが均衡

売上高



営業利益額



外側: Vision2020

内側: Vision50th

# 1. 前中期経営計画 (Vision2020) の振り返り

	重点施策	成果
IT事業	オリジナル技術・サービスの開発	・プログラム可視化、テスト自動化ツールを用いた開発手法を採用し提案力強化
	課金型ビジネスの拡大	・Salesforce.comにて 帳票ツールのライセンス販売
パーキング事業	月極め駐輪場事業拡大 (ECOPOOL)	・管理台数 62,268台 (36,717台増加)
	電磁ロック式駐輪場No.1 (管理台数50万台達成)	・管理台数 513,246台 (134,526台増加) ・再開発案件や自治体案件を受注
企画管理部門	業務プロセス改善による 収益性の向上	・平均営業利益率の改善 (123%増加) 2.28% → 5.3%
	働き方改革による 企業競争力の向上	・テレワーク、時差出勤の制度化 ・健康優良企業「銀の認定」取得

## 2. 今後の事業環境の見通し

### 事業環境

#### IT事業

- ↑ 企業のIT投資旺盛
- ↑ 大企業の保守運用  
外部委託化が伸長
- ↓ IT人材獲得難

#### パーキング事業

- ↑ 各地で自転車活用推進計画が進行
- ↑ 人手不足を背景としたIT化促進ニーズ
- ↓ 放置問題解消による駐輪場需要減少
- ↓ 新型コロナウイルス収束後の変容

### 当社への影響

- ビジネス機会の拡大
- 保守・運用の知見を活かした  
需要の取込み
- 体制構築遅延による  
機会損失リスク
- 自転車関連ビジネスの  
創出・拡大
- 無人駐輪場システム需要増
- 駐輪場市場縮小リスク
- 通勤通学利用客の減少

# 3. 新中期経営計画基本方針

## バリュー

### 1 NCDバリューの追求と更なる進化

ストック(運用)とフロー(開発)の連携強化による更なる付加価値の向上

## ドメイン

### 2 NCDの特色を生かした事業ドメインの一層の拡大

IT事業とパーキング事業の連携強化による新たな事業機会の創出

## 体制

### 3 事業体制の強化

事業部門を超えた全社・グループレベルでの  
企画管理機能およびグループガバナンスの強化

### 4 グループフォーメーションの最適化

グループ会社間の機能分担の見直しによる最適な事業体制の構築

# 3. 新中期経営計画基本方針

運用で獲得したノウハウを活かしたさらなる**付加価値創出**

IT=システム開発  
PS=機器開発

企画・R&D

企画・R&D

付加価値創出ループ

運用・保守

設計

開発

販売

運用・保守

IT=運用・保守  
PS=駐輪場運営

# 3. 新中期経営計画基本方針(IT事業)

## バリュー

### 1 NCDサービスモデルの確立・進化による新たな価値提供

アプリケーション・インフラの両領域における運用と開発の標準的なサービスモデルを構築し、双方間の付加価値ループを強化

## ドメイン

### 2 既存ドメインの更なる深耕と大企業顧客基盤の開拓

顧客の業務イノベーション支援サービスの整備を推進することにより、特に大企業を中心とした新たな顧客基盤を確立

## 体制

### 3 NCDサービスモデルの整備・確立に向けた社内開発体制の整備

NCDサービスモデル開発を行うミッションの明確化と人的リソースの配分

### 4 本体とグループ会社間での効率的な機能分担の実現

グループ会社間の機能分担の見直しによる最適な事業体制の構築

### 5 外部企業との連携強化

新しい技術・知見の獲得および人的リソース強化に向けた外部連携の強化

# 3. 新中期経営計画基本方針(パーキング事業)

## バリュー

### 1 駐輪事業における高付加価値ビジネスモデルの確立・推進

駐輪場運営から得られるノウハウを機器・ソフトウェア開発に還流することで高付加価値ビジネスモデルを確立し、提案型ビジネスを推進

## ドメイン

### 2 既存駐輪場ビジネスにおける事業エリアの拡大とプレゼンスの向上

新規拠点の整備・拡充による事業エリアの拡大と業界における更なるシェアアップ

### 3 次世代の事業の柱となる国内新規事業の創造

パーキング事業を通じて獲得した強みを活かした新たな事業機会の模索

## 体制

### 4 戦略企画機能の強化を実現しうる事業体制の構築

事業企画、運営管理等を担うマネジメント体制の整備・拡充

### 5 子会社との連携強化

パーキング事業におけるグループ各社間のシナジー効果発揮に向けた機能分担の見直し

# 4. 企画管理部門戦略

最適なグループ  
フォーメーションの確立

- グループ会社間のシナジー最適化に向けたグループ経営体制の整備

グループ経営機能  
の強化

- グループ全体の戦略・企画立案機能の強化
- グループ人的資源管理の高度化

経営管理の高度化

- 経営管理の仕組み見直しによるマネジメント強化

管理間接部門の  
業務効率化

- IT活用による抜本的な業務標準化・効率化・省力化

コンプライアンス  
リスク管理の強化

- コンプライアンス推進態勢の強化
- リスク管理の高度化

グループガバナンス  
の強化

- 行動規範、グループ中計等の浸透及び価値観の共有
- グループ会社の親会社への報告承認事項・基準の策定

コーポレートガバナンス  
の強化

- 投資家コミュニケーションの高度化
- 財務・非財務両面からの情報公開の強化

# 5. 中期経営目標

## 連結業績目標

2023年3月期	連結	単体	子会社
売上高	200億円	170億円	30億円
営業利益額	12億円	10億円	2億円
営業利益率	6.0%	5.9%	6.6%
ROE	15%以上	—	—

## セグメント別業績目標

2023年3月期	売上高
システム開発事業	80億円
サポート&サービス事業	50億円
パーキング事業	70億円

# Change & Challenge for Smile

理念：『ユニークなソフトウェア技術により、明るい未来に貢献する』

本資料に記載されている計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、種々の前提に基づき策定したものであり、将来の業績等を保証するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。

## 【問い合わせ先】

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社  
経営戦略本部 経営企画室  
TEL: 03-5437-1021